## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

## 公表:令和5年3月31日

## 事業所名 バンビ舞松原stars

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関 係で適切である	5		児童様が常に見えるよ う配置している	
	2	職員の配置数は適切である	4	1		長期休み時期だけでもドライバーが来ていただければ助かる
整備	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている		5		身体に障がいがある利用者様は在籍されていないためバリ アフリー化はされていない
業	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		職員全体で行っている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			毎年のアンケート結果から保護者様の意見を頂き今後の療育支援の内容など深めたり改善につなげている
務改善	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	5		HPで行っている	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている		5		第三者評価は未実施
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	5		年間を通してオンライン や法人全体で行ってい る	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	5		モニタリング前などにア セスメントを取りニーズ や課題を分析し計画書 を作成している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	5		昨年よりアセスメント シートをより明確化し保 護者のニーズがより分 かるよう変更した物を使 田している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		季節を感じたり経験・体 験を多く取り入れている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		利用者の特性を踏まえ それぞれが長所を発揮 できるよう工夫している	
適切	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	5		利用時間に合わせて行 えるようなプログラムに している	
な支援	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	5			
の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	5		職員全体で情報共有を 行っている	また、その都度気づいた点など情報共有をしている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	5		職員全体で情報共有を 行っている	また、その都度気づいた点など情報共有をしている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		ケ−スの作成により支援 の検証を改善している	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5		日々の支援記録をPCに て記録し検証・改善に繋 げている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	5			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護な	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	5		主に児童発達支援管理 責任者が参画している が利用者に精通した職 員も参画している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5		保護者からの連絡と学校プリントで調整している	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている		5	在籍者なし	
		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	5		保護者や相談支援員さんと情報共有している	
		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している	5		まだ学校を卒業した児 童様はいないが、その 場合は移行先への情報 共有はしていく	
者との連		児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研 修を受けている	5			研修は積極的に参加するようにはしているが連携は行えていない
携		放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5			コロナ禍もあり行えていないが、今後お出かけなどを通して活動する機会を設けたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している		5		積極的に参加はしたいが、サービス提供時間と重なる事も多く 参加できていない
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	5			利用された日は連絡帳や送迎時に状況を伝え共通理解を持って頂いている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている		5		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	5		契約時に行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ている	5		必要時には電話等で 行っている	
保護	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している		5		コロナ禍もあり行えていないが、中々お忙しい保護者がいらっ しゃるのも現実である
者への説明	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	5		その都度対応し職員間でも情報共有している	
責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	5		会報ではないがプログ ラム予定表やHPにて活 動概要など発信してい る	
	35	個人情報に十分注意している	5		個人情報記載分は鍵付 きロッカーで保管してい る	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	5			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		コロナ禍の為行えていない

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアルを策定し、職員や保護 者に周知している	1	4		マニュアルを作成し職員は年に1回それぞれ研修を行っているが保護者には十分には周知できていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っている	5		年に2回以上避難訓練をイベントとして行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		年に1回職員研修を行っ ている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5		他害・自傷がある児童 様は聞き取りの際事前 に十分に説明し承諾を 頂いた上で計画書に記 載している	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医 師の指示書に基づく対応がされている	5		アレルキーに関しては 保護者よりきちんと聞き 取りを行い必要な場合 ありお示書をお願いい	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共 有している	5		ヒヤリハット事例は即作 成し職員がいつでも見 れるようにしている	